クラス	511	担当教員	渡邉　敏生（わたなべ　としお）
		テーマ	頭と体を使って経済学を学ぶ
		著書･論文	【論　　文】「国債残高と経済の不安定性」『国民経済雑誌』第 202 号第 3 号（2010）
		研究課題等	【研究課題】　経済成長と景気循環

ゼミナール 概 要

キーワード：日本経済　マクロ的視点　ミクロ的視点　金融　フィールドワーク

目的、内容、方法等：

「理論はむずかしい」「理論は意味がない」と言って、逃げ出してしまう学生がたくさんいます。それでは、理論がかわいそうです。実際の経済問題を分析するときに、理論はヒント（フレームワーク）を提供してくれます。

そこで、ゼミでは１年生のときに学んだ経済理論Ⅰ、Ⅱを復習したり、新たな領域を学んだりして、「理論は結構使える」ことを確かめたいと思います。

授業計画：

これまでまじめに勉強してきた学生も、してこなかった学生も、高校のときの勉強方法を振り返る必要があると思っています。まず、2 年生の前半では、「勉強法」に関する本を 1 冊読んで、自分の勉強方法の欠点を知ってもらおうと思います。それから、経済学の勉強をしていこうと思います。理論の勉強が終わったあとは、『経済財政白書』を読んで、日本経済の現状を勉強する予定です。その後は、卒業論文を意識して、自分の興味、関心の持っている分野に進んでいってもらいます。

※　『経済財政白書』…内閣府が報告している年次経済報告書。過去 1 年間の日本経済の様子や今後の動向がまとめられています。

国内フィールドワークへの積極的な参加：

いすに座って勉強するだけでなく、フィールドに出て行くことも重要な勉強です。物事は、「あたま」と「からだ」を使ってはじめて身につきます。ゼミでは国内フィールドワーク（例えば、農業研修。正門前の畑でのサツマイモ栽培、大学近辺の田んぼでの米作りなど）をいくつか企画しています。積極的に参加して欲しいと思います。

履修上の注意：

ゼミの選択は大切です。慎重に選んでください。なお、僕のゼミでは以下のような学生を歓迎します。

① 規則正しい生活をして、朝昼晩の３度の食事をきちんと取っている学生。
② 挨拶ができる学生。礼儀を知っている学生。
③ 将来の自分のために、お金や時間を使うことができる学生。
④ 理論アレルギーが無い学生。「経済理論Ⅰ、Ⅱ」や「経済学のための数学」の講義を受けて面白いと思った学生。
⑤ 農業に興味のある学生。

使用テキスト	担当教員からのメッセージ
相談してから決めます。	遅刻や無断欠席は、絶対しないこと。 1 月に行われる事前指導（顔合わせ）には必ず出席すること。